

たちかわしすいがい 立川市水害ハザードマップ

Tachikawa City Flood Hazard Map
立川市水災危険区図
다치가와시 수해 해저드 맵

2022年(令和4年)9月

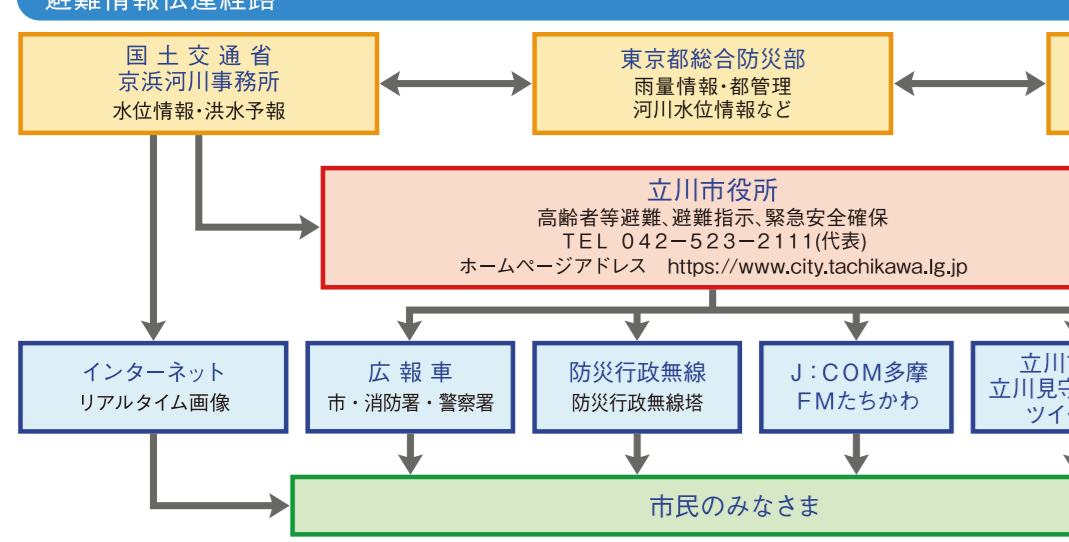
水害ハザードマップをご覧になる際の注意点

実際の浸水範囲や水深はこの想定と異なることは十分にあります。地図に示した浸水区域以外でも、想定を超える集中豪雨や支流川の氾濫、内水氾濫などにより、浸水することもありますので、十分に注意してください。

警戒レベルもとるべき行動

警戒レベル	市民がとるべき避難行動
5	緊急安全確保 避難レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5発生直後の命令を待たず避難してください。
4	避難指示 警戒レベル4は避難指示で危険な場所から全員避難を指示します。
3	高齢者等避難 避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、警戒レベル3発生直後の命令を待たず避難してください。
2	大雨・洪水・高潮注意報 気象庁発表
1	早期注意情報 気象庁発表

避難情報伝達経路



風水害時、指定避難所は災害の規模に応じて、段階的に開設します。

- 開設施設【第1段階】** 滝ノ上会館、柴崎会館、錦学習館、立川競輪場集合棟(風水害限定)
- 開設施設【第2段階】** 第四小学校、第一小学校、立川第一中学校、第三小学校、第七小学校、第六小学校、立川第三中学校、第二小学校、立川第二中学校、立川第二小学校、南砂小学校、若葉台小学校、立川第九中学校、第八小学校、幸小学校、立川第四中学校、第十小学校、柏小学校、立川第六中学校、大山小学校、松中小学校、柴崎学習館、女性総合センター(5階のみ)・中央図書館(風水害限定)、さかえ会館、若葉会館、砂川学習館、こんぴら橋会館、上砂会館、西砂学習館、西砂会館
- 開設施設【第3段階】** 旧多摩川小学校、新生小学校、立川第八中学校、旧若葉小学校、第九小学校、上砂小学校、立川第五中学校、西砂小学校、立川第七中学校

残堀川版

この地図は、東京都と都内中小河川流域の区市町村で構成する「都市型水害対策連絡協議会」が公表した主要な河川(右表)等において、想定される最大規模の降雨が発生した場合に予想される浸水の範囲や浸水、避難所等を示したものです。

河川名	河川延長(km)	想定最大浸水深(m)
残堀川	65.0	1.5
多摩川	13.0	1.5
立川川	13.0	1.5

※この図は、国土交通省関東地方整備局「多摩川洪水浸水想定区域図」に基づき作成されています。

雨の強さと降り方

- やが強い雨** 1時間に10~20mm未満
ザーザーと降る雨。地面に水たまりができ、話し声が聞きにくくなります。
- 強い雨** 1時間に20~30mm未満
どしゃ降り。傘をさしても濡れてしまい、側溝や下水があふれます。
- 激しい雨** 1時間に30~50mm未満
バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになります。
- 非常に激しい雨** 1時間に50~80mm未満
滝のようにゴッーと降り続く雨。傘がまったく役に立ちません。
- 猛烈な雨** 1時間に80mm以上の雨
息苦しくなるような雨。大規模な災害が発生しかねません。

避難時の心得(洪水編)

避難時の服装

荷物は少なく、動きやすい服装で避難しましょう。

- ヘルメットや帽子、防災頭巾などで頭を保護
- 非着脱式靴は両手が使えるリュックがオススメ
- 濡れても安心な服装
- 靴の手や手袋などで手を保護

靴は底が厚くて踏み入れられる運動靴を履きましょう。長靴は履かず、水が入ると重くなるので避けてください。

歩ける深さに注意!

水の中で歩ける目安は、ひざ下くらい(約50cm)までです。浅くても水の流れる速い場合は危険なので高いところで救助を待ちましょう。

2人以上で避難する!

危険なので、なるべく複数の移動は避け、明るい時間に複数の人と避難しましょう。

避難が遅れたら...

もし避難が遅れてしまった場合、無理に移動せず、近くの丈夫な建物のできるだけ高い所に逃げましょう。

側溝や雨水ますの清掃

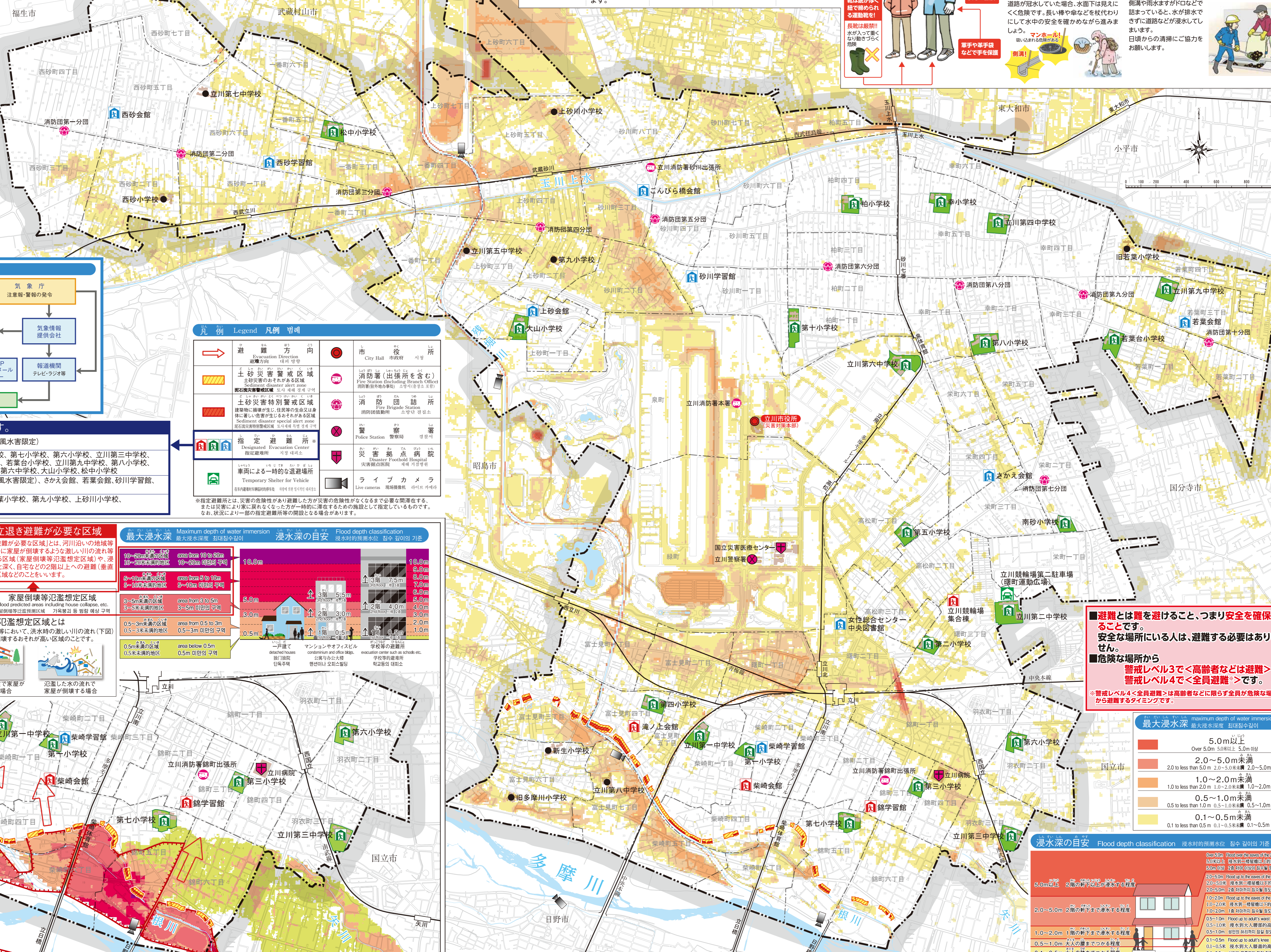
側溝や雨水ますがドロなどで詰まると、水が排水できずに道路などが浸水してしまいます。日頃の清掃にご協力をお願いします。

足もとにも要注意!

道路が冠水していた場合、水面下は見えずに危険です。長い棒や傘などを杖代わりにして水中の安全を確かめながら進みましょう。

マンホール!

マンホールは、水が溢れ出す危険があります。通行の際は注意してください。



凡例 Legend 凡例 범례

避難方向	市役所
土砂災害警戒区域	消防署(出張所を含む)
土砂災害特別警戒区域	消防団詰所
指定避難所	警察署
車両による一時的な避難場所	災害拠点病院
	ライブカメラ

多摩川版 Tamagawa river

この地図は、国土交通省関東地方整備局が公表した「多摩川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」(想定降雨:多摩川流域の48時間総降雨量588mm)をもとに、大雨時に多摩川が氾濫した場合の浸水範囲や浸水の深さ、避難所等を示したものです。

早期の立退き避難が必要な区域

早期の立退き避難が必要な区域とは、河川沿いの地域等に多く、洪水時に家屋が倒壊するおそれのある区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)や、浸水深が3m以上と深く、自宅などの2階以上の避難(垂直避難)が危険な区域などのことです。

家屋倒壊等氾濫想定区域

河川沿いの地域等において、洪水時の激しい川の流れ(下図)によって家屋が倒壊するおそれが高い区域のことです。

浸水深	浸水深の目安
10.0m以上	浸水深の目安
5.0m	浸水深の目安
3.0m	浸水深の目安
1.0m	浸水深の目安

最大浸水深

浸水深	浸水深の目安
10.0m	浸水深の目安
5.0m	浸水深の目安
3.0m	浸水深の目安
1.0m	浸水深の目安

浸水深の目安 Flood depth classification

浸水深	浸水深の目安
5.0m以上	浸水深の目安
2.0~5.0m未満	浸水深の目安
1.0~2.0m未満	浸水深の目安
0.5~1.0m未満	浸水深の目安
0.1~0.5m未満	浸水深の目安